

参画と協働の推進方策概要

1. 基本的考え方

(1) 参画と協働による兵庫づくり

県民の主体的な活動を支え、県民とともに歩む「県民ボトムアップ型県政」を推進

(2) 民間企業を含めた多様な主体による地域づくり

多様な主体(住民、地縁団体、民間企業、行政等)のエンパワメントと主体間の連携推進

(3) 県行政への参画・協働の推進

情報共有、協働事業実施等の取組を推進

2. 地域づくり活動の支援の方向（地域づくり活動支援指針）

<基本方向>

<主な取組>

1 情報提供・相談体制の整備

I C Tを活用した情報収集・分析・発信する力を充実・強化

地域づくり活動に関する情報を楽しくわかりやすく提供

▶ デジタル技術を活用した社会課題の解決を図る「スマート兵庫」の実現

▶ コラボネット・SNS・ポッドキャスト等多様なコンテンツを活用した地域づくり活動に関する情報収集・楽しさの発信

2 「場」・仕組みづくりの支援

持続可能な地域コミュニティの基盤形成を支援

地域づくりへの参加方法や関わり方の多様化を推進

▶ 「地域運営組織」等による主体的な対話の場づくりの推進

▶ 公民連携による参画と協働の新たな形の構築（企業、NPO、プロボノ※等）

※ボランティア活動の一形態で、職業経験や自らの専門知識・技能を生かして参加する社会貢献活動のこと。

3 活動・交流拠点の確保

共感し参加することができる「人が人を呼ぶ」構造が機能する拠点づくり

▶ 移住、関係人口の創出につながる拠点づくりの促進

4 多様なネットワークの構築

多様な主体との連携・協働を支援

▶ 起業家等新たな担い手の発掘及び連携の促進

▶ 災害に備えたネットワークの構築や災害中間支援組織の充実

<基本方向>

<主な取組>

5 知識・技能の 習得機会の提供	参加・スキルアップのきっかけづくり を充実	▶地域の活動に対する伴走型支援の充実や職員のファシリテー ション能力向上
	全員活躍社会に向け、生涯を通じた学 びを強化	▶公民館や図書館をハブとした地域活動拠点の形成 ▶ワークショップやフィールドワークを通じた地域課題の発見
6 地域人材の確保	活動に参画・協賛する人材を確保 ～若者がチャレンジできる機会や雰囲気醸成～	▶地域のロールモデルと若者のマッチングや体験活動の機会創出
	活動団体の担い手の発掘と育成を推進	▶地域づくりの「核」となるコーディネーターの育成・確保
7 協働によるエン パワーメント	個々の主体のインパワードメントと主体間の連 携によるインパワードメントを促進	▶多様な主体間の連携強化 ▶中間支援団体によるエンパワーメントの支援
8 活動資金の調達 支援	活動資金を生み出す仕組みづくりを支 援	▶ふるさと納税を活用したNPOによる資金調達への支援の多様 化

3. 参画と協働による県行政推進の方向（県行政参画・協働推進計画）

<基本方向>

<主な取組>

1 情報公開の推進	県民に情報をわかりやすく、主体的に 選択できるよう提供	▶専門人材の活用によるパブリシティ活動の強化
2 政策形成過程へ の参画	県行政に県民の意見・提案をつなぐ機 会を積極的に確保	▶オンラインプラットフォーム等多様な手法による住民参画 の促進
	審議会などへの県民の参画機会を拡充	▶県民からの政策提案機会の確保
3 公民連携による 政策実施	多様な公民連携の取組を展開	▶各市町の状況を考慮した柔軟な支援の実施
4 多角的視点から の政策評価・検証	県行政の評価・検証への県民参画を促 進	▶「躍動カフェ」等を通じた参加者間の連携促進や県施策への 反映